

写真 ・ ： コマダラウスバカゲロウ（幼虫）

ダイヤモンドトレールの「紀見峠」に行った際に、近くのスギの大木を見ていると...
なんと1本の木の樹皮上に数匹の「アリジゴク」がいたのです！

しかも、淡いライムグリーンの“おしゃれな”奴なのです...

周囲の木を観察しましたが、どの木にもいるというわけではなさそうなのですが、
こんなところ（樹皮上）で待っていたってアリなんか来ないのではないかと、と少し
心配になりますね。

とても“アリジゴク”などと呼べそうにないのですから...

撮影写真を元に図鑑で調べてみると...

「コマダラウスバカゲロウ」の幼虫みたいです。

あの「アリジゴク」は「ウスバカゲロウ」の幼虫ですので、名前から推測するに“近縁”
の種なのでしょうね。

ちなみに...

「アリジゴク」の成虫である「ウスバカゲロウ」の仲間は日本に17種もいるそうです。
そして、このうち巣穴をつくっていわゆる「アリジゴク」として落ちてきた獲物を狩
るものは4種類だけということです。

そしてこの幼虫は、樹皮に付いている地衣類に擬態して、小さな虫やクモなどが通りか
かるのをじっと待っているのです。

（よく見ると、地衣類の粒を体に付けていますね）

写真 ： アブ

同じスギの樹皮にとまって、こちらの様子をうかがっていた「アブ」です...

（違う方向を見ているようですが...）

図鑑で調べたのですが、同定できていません。





